

発行所：石川自治センター

発行者：石川自治センター長 大竹富雄

〒 963 - 7859

石川町字南町 36

Tel.26-1554 (FAX も同)

石川自治センター だより



まちなか朝市感染症対策実施中



まちなか朝市(山田達也会長)は、9月に入り猛暑や雨に遭いながらも出店者一同元気に頑張っています。夏野菜から秋野菜への時期ですが、天候不順により葉物野菜等が遅れている状況です。12日の朝市は、夜半の雨も上がり秋のお彼岸セールを開催した。生花や新鮮野菜、

惣菜等を求め多くのお客様が7時の開店時間前から来店して頂き、感染症予防「密接」を防ぐために、品揃えが出来た店舗より販売を開始となりました。生花や手づくり惣菜のおはぎ等は、早々と売切れてしまいました。秋の味覚、栗や里芋、梨等も売れていました。今年一番の人出になりました。ありがとうございます。



朝市では、お客様からの事前の予約注文や配達も行っていきます。気軽に一声掛け下さい。是非ご利用いただければと思います。

惣菜等を求め多くのお客様が7時の開店時間前から来店して頂き、感染症予防「密接」を防ぐために、品揃えが出来た店舗より販売を開始となりました。生花や手づくり惣菜のおはぎ等は、早々と売切れてしまいました。秋の味覚、栗や里芋、梨等も売れていました。今年一番の人出になりました。ありがとうございます。

10月まちなか朝市は、3日・10日2倍・17日・24日2倍・31日です。

石川地区敬老会実行委員会(瀬谷守夫実行委員長)

は、石川自治センターで、8日敬老会配布物(1039名分)の袋詰め作業を行った。10日から、各行政区実行委員が来訪し、敬老者名簿、記念品、敬老祝い金受け取り、敬老者への配布を開始した。自宅訪問の際にはコロナ感染症予防の消毒液、マスクが役場より提供された。敬老会式典中止により、行政区長、民生児童委員の方々には、自宅訪問をして頂き配布、安否確認等をして頂き、大変お世話になりました。ありがとうございます。

「今は元気であるけれどどうなるの？」

9月10日保健センターで行われた。社会福祉協議会福祉部会へ出席した。「支え合える地域づくり」を目指し6地区の自治センター他で検討会、情報交換等定期開催している。検討事項では、高齢者の「困りごと」の支援について、参加者全体で、高齢者の生活における「困りごと」を、高齢者から聞いていること。又、自分のこととして挙げた。足の問題。移動手段。買物に行けなくなる。買物へルパーさんがいるといい。料理が出来ない。移動販売。弁当配達。冷蔵庫の整理。ゴミ出し。米すりが出来ない。洗濯干し。布団干し。ペットの世話。電池交換。高い所の清掃。雨どいの掃除。重い物が持てない。土地が荒れてしまいう。庭木の手入れが出来ない。自宅周りの清掃が出来ない。雪かきが出来ない。近所の人と交流する機会がなくなる。近所の付き合いが薄い。(現状だと「助けて」という勇氣がある)。同世代が居ない。話し相手。お茶飲み。地域で集まれる場所が無い。健康管理、薬を取りに行けない。病院受診時の送迎。急変の対応が出来ない。裏面へ続く。

新田寿健康大学ものづくり学習会

表面より郵便を出しに行けない。行政の手続き。頼める人がいない。高齢者になるほど思い当たることではないでしょうか。支え合いの仕組みづくりの動機付けになると思います。



新田寿健康大学(小豆畑幸司委員長)は17日(木)9月学習会ものづくり体験学習ランプシェードづくりを新田ふれあいセンターで行った。8月は夏休みを取り、2ヶ月ぶり開催となった。講師に、会田泰子、金内紀子先生(新田区)を招き24名(女性14名、男性10名)の学級生が参加した。女性の中には以前に体験している人もいたが

ほとんどの参加者は初体験となった。コロナ感染症予防対策として、マスクの着用、アルコール消毒、検温、ソーシャルデスタンスを取り行った。ランプシェードは、枠づくりが大変なことから、事前に作成して頂いた。学級生は、自分の好きな和紙を貼る作業でランプシェード作り上げた。初めに、枠に沿って型紙を作り、型紙に合わせて、自分の好きな絵柄や模様、和紙を選び型紙に合わせ切っていく作業と順調に進んだ。枠に和紙を貼る作業に入ると、枠の捩じれや曲がりに悪戦苦闘し、多い人で九つの



枠、少ない人で六つの枠に貼る作業は、見た目にも大変でした。先生方の手助けを頂きながら完成を目指した。約2時間半の作業でほぼ完成した。学級生は、自分の出来栄に、満足した笑顔がありました。最後に、会田先生からは、「皆さんの頑張りで良い作品が出来ました。玄関や居間に飾り楽しんで下さい。」とお褒めの言葉を頂いた。今回のものづくりは、細かい作業が多く大変お疲れ様でした。



来年は「丑年」です。

石川寿大学(永沼栄一委員長)は、10月学習会を石川自治センターで開催予定。20日(火)午前9時30分。内容は、ものづくり教室。2021年干支づくり「丑」を粘土でつくりま

石川町文化祭第1回実行委員会は、17日モトガッコで行われた。自治センターでは、展示部門へレディース外櫃、新田が展示を予定しています。展示期間は、10月31日～11月2日の3日間となります。

レディース外櫃(水野昭子委員長は、三本木美智子先生(北町区)を講師に招き、7月から3ヶ月かけての学習会で、取手付小物入れ・花籠の粘土器に取組み、アクリル・油絵の具で彩色をして作品を完成させた。2年ぶりの文化祭に展示される。



健康教室「ノルディックウォーキング」11月開催へ

健康と仲間づくりノルディックウォーキング教室の開催が、コロナ禍で延期されていたが、11月開催全10時～12時、毎2時間で全4回開催予定。参加費2,000円(1回500円×4回)で日程は未定。参加費には、参加者の保険及びポールレンタル代を含みます。参加者は、中学生以上の方。場所は、中谷自治センターで行います。



10月度行事予定*諸般の事情により日時等変更になる場合もあります。

日	曜	行事予定	備考
22	火	石川寿大学学習会 9:30～	石川自治センター
24	木	新田寿健康大学移動研修 8:00～	新田ふれあいセンター
31	土	石川町文化祭	モトガッコ
毎週	土曜日	まちなか朝市 7:00～	石川自治センター

尚、コロナ感染症拡大により変更になる場合があります。問合せは、☎26-1554 石川自治センター緑川

